

## IV 家庭の教育力を高め、地域の教育力を生かす

## (8) 家庭の役割と機能を再確認するための方策推進

## 22 家庭教育資料等による啓発

子育て支援に関する情報を提供し、家庭教育・子育てに関する意識啓発やサポートを行います。


 達成指標	朝食を必ず食べる児童生徒の割合 (再掲Ⅲ-(7)-21)	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		88.0%	<del>85.5%</del> 90.0%	<del>89%</del> 90.5%	90.0%

No.	アクションプラン名	事業内容	(千円)		推進担当課
			22年度当初予算	22年度の行動計画(案)	
76	家庭教育資料の配布	小学校1年生、小学校5年生、中学校1年生の子どもを持つ保護者に家庭教育資料を配布し、子育てのサポートをします。	1,058	「家庭教育応援します～親ナビ@低学年.ちばし～」11,000部、「家庭教育応援します～親ナビ@高学年.ちばし～」10,500部、「家庭教育応援します～親ナビ@中学生.ちばし～」9,500部、を3月末に配布。	健全育成課
77	「子育てハンドブック」の配布	各区役所や保健福祉センター等において「子育てハンドブック」を配布し、子どもに関する保健・福祉などの各種制度を広く紹介することにより、子育てへの支援を行います。	3,200	8月中旬に22年度版を配布予定。	こども企画課
78	子育て支援情報紙「いきいき子育て」の配布	乳幼児期から小学生の子どもを持つ保護者等を対象とした子育て支援に関する情報を提供します。	1,554	・9月、1月に「いきいき子育て」を作成し、幼稚園、保育所(園)、小学校等を通じて保護者へ配付(各88,000部)	子ども企画課


5,812

## 23 家庭への支援

家庭の教育力の向上に向け、家庭における子育てについてさまざまな悩みや相談への対応を行います。

 達成指標	「家庭教育支援チーム」が行う子育てに関する相談活動への参加者(延べ数)	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		50人	80人	100人	300人

## 22「IV教育力」

 達成指標	子育てサロンが行う子育て相談への参加者数(延べ数)	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		3,400人	3,700人	4,000人	5,000人

		(千円)			
No.	アクションプラン名	事業内容	22年度当初予算	22年度の行動計画(案)	推進担当課
79	地域における家庭教育支援の基盤形成	子育てサポーターや民生委員等の地域の人材で構成された「家庭教育支援チーム」を中心に、地域で子育て講座や相談活動を実施します。	521	・小中台・園生地区を引き続きモデル地区に選定し、家庭教育支援チームを中心に地域との連携をさらに深めていく。その中で、子育て親育ち講座の開催・相談活動・広報紙の発行等に取り組んでいきたい。また、千葉市全域への事業の波及のため、子育てサポータースキルアップ講座を開催する。	生涯学習振興課
80	保育所(園)・幼稚園等における子育て支援の推進	保育所(園)や幼稚園、子育て支援館、地域子育て支援センター、子育てリラックス館などにおいて、子育て親子の交流の場や子育て関連情報の提供、子育てに関する相談など、子育て家庭の支援を推進します。	22,960	平成22年4月開園の2か所の私立保育園を含め、市内95か所の認可保育所(園)において、平成21年度に引き続き当該保育所(園)の所在する地域に住む異なる年齢の子どもたちとの交流の機会を設けたり、保護者などへの育児講座を開催したり、地域における子育てを支援する事業を実施する。 ※ なお、当該事業においては、地域の実情に応じ、例えば、在籍児童らと地域高齢者の交流活動として実施される場合もあり、左記予算額はこれらを含むものとなっている。	保育運営課
			0	引き続き実施する。	保育運営課
			190,915	引き続き年間を通じ、子育て支援館、地域子育て支援センター(7か所)、子育てリラックス館(10か所)において、交流の場の提供や相談指導など子育て家庭への支援を実施する。	保育支援課
81	公民館における子育て支援の推進	各区の中核公民館を中心に子育てサロンを運営し、子育てサポーターや家庭教育アドバイザーが相談に応じ、子育て仲間づくりを支援します。	360	・各区中核公民館を中心に、子育てサポーター・家庭教育アドバイザーが、子育てに関する相談の機会を設けるとともに、子育てサークル等の活動支援や新たな子育てサークル結成の支援を行う。	生涯学習振興課

214,756

## (9) 地域の教育力を活用した家庭・学校への支援の充実

## 24 放課後等の子どもの居場所づくり

小学校の施設等を活用し、放課後等に子どもたちが共に遊び、交流できる場や機会を提供していきます。

 達成指標	放課後子ども教室の年間実施回数日数	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		29回日	40回21日	34回40日	40回日


 達成指標	公民館の小・中学生の学習者数（延べ数）	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		44,000人	45,000人	46,000人	51,000人

(千円)

No.	アクションプラン名	事業内容	22年度当初予算	22年度の行動計画（案）	推進担当課
82	放課後子ども教室の推進	小学校の施設を活用して、放課後の子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の多様な人々の参画を得て、さまざまな体験・交流活動等を実施する「放課後子ども教室」の取り組みを全小学校で推進します。	15,654	週1回年間40日程度、全小学校に放課後子ども教室を設置し、放課後の子どもたちの居場所づくりを行う。	生涯学習振興課
83	子どもルームの整備・運営	小学校の空き教室や民間施設等を活用し、子どもルームを整備することにより、就労等で昼間家庭に保護者のいない原則小学校1～3年生の児童に、放課後における遊びと生活の場を提供します。	2,272,121	<ul style="list-style-type: none"> <li>・107小学校区117か所 → 107小学校区118か所</li> <li>・第2ルーム増設：小中台保健センター跡施設</li> <li>・施設改善：新宿地区、幕張小</li> </ul>	健全育成課
84	公民館での子どもたちの学習や活動の場の確保	公民館の施設を活用し、公民館主催講座のほか、地域やクラブ・サークル等の協力を得て、週末の子どもたち（小・中学生）に学習や活動の場を提供するなど、子どもの居場所づくりに努めます。	各公民館の事業計画が提出されていないため、現時点では不明	21年度と同様に <ul style="list-style-type: none"> <li>・通年実施（週末、小・中学校の長期休業期間）</li> <li>・公民館主催による各種少年対象事業（工作教室、料理教室、科学教室等）を実施するとともに、公民館利用団体による各種体験教室を実施する。</li> </ul>	生涯学習振興課
85	学校体育施設等の活用推進（再掲⇒70）				
86	子どもたちの森公園の管理運営（再掲⇒70）				

## 25 地域人材を活用した学校支援

学校外の社会人の指導力を学校教育の場に積極的に活用し、授業や部活動等において専門的な指導を充実させ、学校教育の活性化を図ります。

 達成指標	学校・家庭・地域連携によるまちづくり推進事業への参加者数（延べ数）	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		61,733人	62,800人	63,800人	68,800人

No.	アクションプラン名	事業内容	22年度当初予算 (千円)	22年度の行動計画（案）	推進担当課
87	「楽しい教室づくり」の推進 (地域人材の活用)	幅広い経験を持ち、優れた知識・技能を有する60歳以上の高齢者を学校教育に活用することにより、多様な教育活動を展開します。	0	子どもの夢をはぐくむ学校サポート推進事業に統合する。	指導課
88	特別非常勤講師の配置（社会人の活用）	免許状は持たないが、各分野において優れた知識や技術を有する社会人を、小・中学校に派遣することで、学校教育の多様化と活性化を図ります。	1,358	学校教育の多様化と活性化を図るため、該当する小中学校に、1日2時間、24日分、特別非常勤講師9名を派遣する。	指導課
89	中学校運動部活動指導者の派遣（再掲⇒68）				
90	地域スポーツ人材の活用実践への支援（再掲⇒69）				
91	学校・家庭・地域連携によるまちづくりの推進	学校・家庭・地域の連携により、各地域の特色ある地域活動を推進し、子どもたちの地域に対する愛情をはぐくみます。	1,680	各中学校区にまちづくり推進会議を設置し、学校・家庭・地域が連携した活動を企画し実践する。	指導課

## 26 子どもの安全を見守る活動の推進

地域との連携・協力の下、学校セーフティウォッチャーによる子どもたちの登下校の見守り活動やスクールガードアドバイザーの巡回指導を行うなど、地域ぐるみの学校安全体制の整備充実を図ります。

 達成指標	学校セーフティウォッチャーの登録者数	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		16,000人	18,000人 18,500人	19,000人	24,000人

 達成指標	「子ども110番の家」設置数 こども110番のいえ	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		10,080か所	11,500か所 11,000か所	13,000か所 11,500か所	20,000か所

(千円)


No.	アクションプラン名	事業内容	22年度当初予算	22年度の行動計画(案)	推進担当課
92	学校セーフティウォッチの推進	学校セーフティウォッチャーによる登下校の安全の見守りや講習会の実施、スクールガードアドバイザーによる巡回指導を実施します。	5,136	スクールガード・アドバイザーとの連携や講習会の充実に一層努めるとともに、ポスターの配布等により学校セーフティウォッチャーの登録者数のさらなる拡充に努める。	学事課
93	「こども110番のいえ」設置の推進	地域住民の協力の下、緊急避難場所となる「こども110番のいえ」を設置し、子どもたちの登下校の安全確保を図ります。	406	通年、各中学校区の青少年育成委員会が中心となり、子どもたちの登下校等の安全確保を図るために地域住民等のご協力をいただき、いつでも緊急に避難できる場所としての登録を拡大する。	健全育成課

5,542

## (10) ルールやマナー意識をはぐくむ交流・連携活動の推進

## 27 地域ぐるみによる子どもの健全育成の推進

学校・家庭・地域・行政が連携して、地域ぐるみによる青少年の健全育成を推進します。

 達成指標	「青少年の日」つながりウィーク地域行事を実施する中学校区数	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		40地域	43地域	46地域	56地域



22「IV教育力」  
(千円)

No.	アクションプラン名	事業内容	22年度当初予算	22年度の行動計画(案)	推進担当課
94	青少年育成活動の推進	地域における青少年健全育成活動にかかわる機関や団体が、相互の連絡調整を図りながら、地域ぐるみによる青少年の健全育成活動を総合的に推進します。	18,030	学校が長期休業に入る時期や年末等、各地域を学校や地域の補導員・育成委員と一緒に各分室所員が補導活動を実施する。	健全育成課 青少年サポートセンター
95	悩みや不安を抱えた青少年への支援	関係機関団体等と連携を図りながら、問題行動を起こしている児童生徒や少年に対し、個々の実情に即した実務者からなるサポートチームを組織し、立ち直りに向けて支援を行います。 また、児童生徒・少年・保護者・学校などを対象に、来所や電話による相談活動を行います。	3,804	非行や不良交友の傾向のある生徒と不登校児童生徒を補導センター所員やサポート担当者が学習支援をしたり、社会性を身につけさせる支援を実施する。 また、電話相談や来所相談により、児童・生徒・保護者への支援を実施する。	健全育成課 青少年サポートセンター
96	補導活動の実施	青少年の非行につながる行為を早期に発見し、防止するため、民間補導員が補導センター所員と連携を図り、街頭・駅周辺・ゲームセンター・学校周辺等を巡回し、怠学、家出、喫煙、不良交友等の不良行為に対して愛のひと声をかけます。	16,831	民間補導員や県警少年センター職員と連携して、駅周辺や繁華街の補導活動を実施する。	健全育成課 青少年サポートセンター
97	「青少年の日」「家庭・地域の日」の活動の推進	「青少年のコミュニケーション力の育成」や「家庭や地域の教育力の向上」を図るために、家庭・学校・地域・行政の連携の下、青少年が家庭や地域とつながりを持つ機会を積極的に増やす活動を推進します。 ・「青少年の日」「家庭・地域の日」の周知と関連事業の実施	1,560	平成22年9月18日(土)生涯学習センターで「青少年の日フェスタ」を実施予定。また、「青少年の日」「家庭・地域の日」の周知と関連事業の実施にあたり、庁内関係各課で組織する「青少年の日」及び「家庭・地域の日」事業推進会議を年2回開催する。	健全育成課

40,225

(千円)

2,557,148 実施事業

16 調査・調整

0